

日本測地学会第100回講演会

10月22日(水)

10:00~12:00 I. 「測地・地球回転」

座長：福田洋一(京大院理)

辻 宏道(国土地理院)

1. レーザ測距データによる大気荷重変形の検出 (3) "blue sky"効果(12分)
通総研 大坪俊通、久保岡俊宏、後藤忠広
市川隆一
2. 位置平均情報量の最小化による測地観測の最適化(10分)
国土地理院 小牧和雄
3. Min-Max 法による測量平均計算(12分)
国土建設学院 斉藤 努
4. 精密衛星測位による地球環境監視技術の開発
- 衛星重力ミッションの概要 - (12分)
京大院理 福田洋一
通総研 大坪俊通、吉野泰造
東大地震研 大久保修平
5. 複数の衛星による重力場測定のスミュレーション[2](12分)
京大院理 山本圭香、福田洋一
通総研 大坪俊通
6. VERA 局における VLBI と GPS のコロケーション(12分)
国立天文台 田村良明、VERAグループ
7. 高精度コロケーション測量結果に基づく GPS と VLBI 時系列の比較(12分)
国土地理院 辻 宏道、高島和宏、河和 宏
栗原 忍、畑中雄樹、松坂 茂

8. 自発参加型のオムニバス国内 VLBI 観測とその処理(12 分)

国土地理院 高島和宏、町田守人、和田弘人
栗原 忍、辻 宏道

9. スーパー-SINET を用いたギガビット・測地 VLBI の
開発(2)(12 分)

岐阜大工 高羽 浩、若松謙一、須藤広志
吉田 稔

国立天文台 川口則幸、河野祐介

鹿児島大工 安田 茂

東大院理 須田浩志

国土地理院 高島和宏

山口大理 藤沢健太

通総研 近藤哲朗、小山泰弘

10. 新しい歳差公式と恒星時・世界時変換公式(12 分)

国立天文台 福島登志夫

12:00 ~ 13:10 昼 食

12:00 ~ 13:10 第 19 期測地学専門委員会準備会

13:10 ~ 17:00 II . 「計測技術・海洋測地・
南極測地・GPS(1)」

座長：小山泰弘（通総研）

藤本博巳（東北大）

11. 汎用 PC を用いたグリッド型多基線 VLBI システム ~ギガビット測地 VLBI 観測への応
用~(12 分)

通総研 木村守孝、中島潤一、竹内 央 近藤哲朗

12. 多基線測地 VLBI 実験による K5 システムの実証
(12 分)

通総研 小山泰弘、近藤哲朗、大崎裕生
国土地理院 高島和宏

北海道大 徂徠和夫
岐阜大 高羽 浩
山口大 藤沢健太

13. デジタル式地殻活動総合観測装置の設置
(和歌山県新宮市佐野:深度500m)(12分)

名大院環境 山内常生
東濃地震研
防災科研
京大院理
核燃料サイクル機構

14. 地球重力場計測のための衛星間測位用レーザー
干渉計シミュレータの開発(12分)

通総研 長野重夫、吉野泰造、国森祐生
細川瑞彦
国立天文台 川村静児
新潟大工 佐藤 孝、大河正志

15. 地球重力場計測のための衛星間測位用レーザー
干渉計のレーザー光源の開発と評価(12分)

新潟大工 佐藤 孝、大河正志
通総研 伊東宏之、吉野泰造、国森裕生
細川瑞彦、長野重夫
国立天文台 川村静児

14:10~14:20 休 憩

16. 海底地殻変動観測における局位置解析手法と初期値依存性(12分)

海洋情報部 藤田雅之、佐藤まりこ
矢吹哲一朗
東大生産研 望月将志、浅田 昭

17. 「宮城県沖」海底地殻変動観測データにおける局位置再現性の評価(12分)

海洋情報部 佐藤まりこ、藤田雅之
矢吹哲一朗

東大生産研 望月将志、浅田 昭

18. 海底の2点間における精密音響測距(12分)

海洋情報部 富山新一、矢吹哲一朗

19. 三陸沖日本海溝周辺の海底測地観測の進捗状況
(12分)

東北大 藤本博巳、Aaron Sweeney

伊藤 実、日野亮太、三浦 哲

東大地震研 金沢敏彦、長田幸仁

20. 三陸沖での海底圧力観測(12分)

国立天文台 佐藤忠弘、松本晃治、田村良明

東北大 藤本博巳、日野亮太、西野 実

京大院理 東 敏博

東大地震研 金沢敏彦

21. 南極・昭和基地における潮汐ファクターの再計算(続報)(12分)

京大院理 岩野祥子、福田洋一、小林佑輝

国立天文台 田村良明

15:35 ~ 15:45 休 憩

22. 新 GEONET で使用するアンテナ位相特性モデルに
ついて(12分)

国土地理院 宮原伐折羅、畑中雄樹

湯通堂亨、千田進一、雨貝知美

岩田昭雄、石本正芳

23. 新 GEONET システムのためのデータ解析戦略(12分)

国土地理院 畑中雄樹

24. 実データを用いた GPS 座標解における荷重変動補正について(12分)

京大院理 瀧口博士、福田洋一

25. Probabilistic, Statistical and Geometrical

Aspects in Mixed Integer Linear Models (12 分)

京大防災研 Peiliang Xu

26. アジア太平洋 GPS キャンペーンの解析結果 (12 分)

国土地理院 田中愛幸、雨貝知美

山田晃子、辻 宏道

松坂 茂

国土交通大 越智久巳一

JPL Pascal Willis

27. 搬送波位相アンビギュイティに関する通説の解釈がもたらす問題点と具体的例証 (12 分)

エア・スペース・ジャパン 川俣健一

10月23日(木)

9:00~10:00 III. 「GPS(2)」

座長：島田誠一 (防災科研)

矢吹哲一郎 (海洋情報部)

28. VRS 方式測位における電子基準点変動の影響について (12 分)

(株)パスコ 呉 新華、三島研二、笹川 正

三島義徳、橘 菊生

29. 関東・東海地域の短基線の subdaily な解析 (12 分)

防災科研 島田誠一、風神朋枝

30. Studying eruption column of the August 18,
2000 Miyakejima eruption using GPS tomogra-
phy (12 分)

名大院環境 Dudy Darmawan、木股文昭

平原和朗

31. 長距離キネマティック GPS 測位における大気遅延量の推定に関する考察 (12 分)

海洋情報部 矢吹哲一郎

32. 川崎におけるGPS水準測量の試験観測(1)

(12分)

(株)日豊 田中 耀、相京幸一

藤井陽一郎

静岡大理 里村幹夫

川崎市環境局 平野 優、太尾 斎

10:00~10:10 休憩

10:10~12:00 IV. 「地殻変動(1)」

座長：田部井隆雄(高知大理)

鷺谷 威 (名大院環境)

33. 地下水で動く電子基準点I(12分)

国土地理院 宗包浩志、飛田幹男、高島和宏

松坂 茂、黒石裕樹、眞崎良光

34. 地下水で動く電子基準点II(12分)

国土地理院 飛田幹男、宗包浩志、松坂 茂

黒石裕樹、眞崎良光、加藤 敏

35. アルプスは沈降しているか？

- 中部日本の上下変動に関する考察 - (12分)

名大院環境 鷺谷 威

筑波大院理工 井上政明

36. 東北日本前弧の沈降と造構性浸食(12分)

国立天文台 日置幸介

37. 伊豆大島西方域において進行している歪みの蓄積について(12分)

国土地理院 村上 亮

38. 銭洲海嶺の運動の再決定(12分)

高知大理 田部井隆雄
名大院環境 木股文昭、宮島力雄

39. GPS 速度場と地震活動に基づく南西諸島の定常
地殻変動(12分)

高知大理 渡部 豪、田部井隆雄

40. 近畿地方の GPS 速度場とテクトニクス(12分)

京大防災研 西村 宗、橋本 学

41. 2000年鳥取県西部地震の余効変動のモデル化
(再訪)(12分)

京大防災研 橋本 学

高知大理 田部井隆雄

名大院環境 鷺谷 威、伊藤武男

12:00~13:15 昼 食

12:00~13:30 日本測地学会評議会

(会場:本館4階「テレビ会議室」)

13:15~13:50 ポスターセッションコアタイム

(会場:本館4階「ホワイエ」)

13:55~15:10 V. 「地殻変動(2)」

座長:田部井隆雄(高知大理)

鷺谷 威 (名大院環境)

42. 神津島・式根島・新島における GPS 観測による
2000年三宅 - 神津イベントのメカニズム

(12分)

名大院環境 村瀬雅之、木股文昭、奥田 隆
宮島力雄

高知大理 田部井隆雄

東大地震研 加藤照之、中尾 茂

北海道大 岡山宗夫

43. Evidence for dike propagation in Miyakejima 2000 and Hachijojima 2002, from crustal deformation observations (12分)

名大院環境 Meilano Irwan、木股文昭
藤井直之

44. 始良カルデラとその周辺の地殻水平歪

- 1996 ~ 2002 - (12分)

鹿児島大理 田中 穰、上野邦治、井口貴博
野間口一道、園田伸彦
肥後由利子、後藤和彦
八木原寛、江頭庸夫

(株)パスコ 呉 新華

九大島原 松島 健

国立天文台 田村良明、真鍋盛二

45. 成長する重力変動から生ずるジオイド崩壊不安定による弧状スケールの広域地殻変動(12分)

鹿児島大理 田中 穰

46. 小笠原硫黄島の最近の上下変動について(12分)

防災科研 鷓川元雄、藤田英輔、上田英樹
熊谷貞治

(株)オオバ 中島英男、森田広義

応用地質(株)野崎京三、岩本鋼司

47. 硫黄島の地殻変動の時間変化 - GPS 繰り返し観測より(12分)

国土地理院 矢来博司、村上 亮、飛田幹男
宮本純一

日本学術振興会/国土地理院 小澤 拓

15:10 ~ 15:20 休 憩

15:20 ~ 16:35 特別講演会

「測地学会 100回の大会のあゆみ」

1. 「測地測量50年のあゆみ」

日本測地学会名誉会員

学校法人中央工学校 中央実務専門学校 校長 田島 稔

2. 「講演会プログラムにみる測地学研究の変遷」

日本測地学会名誉会員

財団法人 地震予知総合研究振興会 理事 萩原幸男

(司会：吉野泰造(通総研))

16:35～16:45 休 憩

16:45～17:45 通信総合研究所施設見学

18:00～20:00 懇 親 会

(通信総合研究所 交流センター)

10月24日(金)

9:00～11:45 VI. 「地殻変動(3)」

座長：木股文昭(名大院環境)

小林茂樹(九州東海大)

48. グリーン関数のスペクトル分解に基づく新しいインバージョン方法から求めたすべり分布の事例

(12分)

東大地震研 金 紅林、加藤照之、飯沼卓史

堀 宗朗、宮崎真一

49. 断層模型による地表上下変動のパラドックス (3)断層端点付近の挙動(12分)

防災科研 岡田義光

50. 潮汐定数の時間変化・空間分布と地震発生(12分)

富山大院理工 廣瀬一聖

京大防災研 川崎一朗

防災科研 小原一成、山水史生

51. 能動地殻変動実験とその多孔質弾性論によるモデリングの試み(12分)

東濃地震研 浅井康広、石井 紘、青木治三
名城大理工 田中寅夫
名大院環境 山内常生
東大地震研 松本滋夫

52. RADARSAT 衛星の干渉合成開口レーダーによる阿蘇山周辺の地表面変動の検出
(12分)

九州東海大工 小林茂樹

53. RADARSAT と ENVISAT の干渉 SAR の組み合わせによる宮城県北部の地震に伴う
2.5次元地殻変動(12分)

日本学術振興会/国土地理院 小澤 拓
国土地理院 矢来博司、西村卓也
今給黎哲郎

10:15 ~ 10:20 休 憩

54. 2003年7月宮城県北部の地震の前兆変動:水準測量が示す可能性(12分)

東大地震研 山科健一郎

55. 御嶽火山群発地震域における精密水準測量による地殻上下変動 1999-2003年(12分)

名大院環境 木股文昭、宮島力雄、村瀬雅之
Meilano Irwan、Dudy Darmawan
David Solim、太田雄策
藤井直之

56. 水準測量結果が示唆する有珠山2000年噴火の準備過程(12分)

国土地理院 村上 亮

57. 最近25年間の静岡県の上下変動(12分)

国土地理院 海津 優、根本 悟

58. 水準測量と潮位記録から推定する東海地方の上下変動 - 1980年以降 - (12分)

名大院環境 高野和友、木股文昭

59. 神岡100mレーザーひずみ計システムによる潮汐ひずみの観測(12分)

京大院理 百瀬秀夫、竹本修三、東 敏博

東大地震研 新谷昌人

京大防災研 森井 亙、赤松純平

東大宇宙線研 大橋正健、三代木伸二

内山 隆

国立天文台 辰巳大輔

産総研 寺田聡一

60. 地殻変動連続観測に見られる長期変動について

(12分)

京大防災研 尾上謙介

11:45~13:00 昼 食

13:00~16:30 VII. 「惑星測地・重力」

座長：大久保修平（東大地震研）

松本晃治（国立天文台）

61. SELENE 搭載用レーザー高度計(LALT)の開発(概要)(12分)

国立天文台 坪川恒也、荒木博志、田澤誠一

野田寛大、浅利一善、河野宣之

LALT-PI チーム

62. SELENE 搭載用レーザー高度計(LALT)の測距精度

(12分)

国立天文台 田澤誠一、坪川恒也、荒木博志

野田寛大、浅利一善、河野宣之

日本電気 安部喜久夫、加瀬貞二

NEC エンジニアリング 神原文博

63. 月面望遠鏡による月の回轉變動観測(ILOM)計画の技術的可能性(12分)

国立天文台 花田英夫、日置幸介
荒木博志、鶴田誠逸、坪川恒也
浅利一善、松本晃治、田澤誠一
野田寛大、平 勁松、河野宣之
矢野太平、郷田直輝
宇宙開発事業団 岩田隆浩、横山隆明
鹿児島大 宮崎智行
岩手大 船崎健一
清水建設 金森洋史
ILOM 研究グループ

64. RSAT/VRAD ミッションで期待される月重力場モデルの推定精度(12分)

国立天文台 松本晃治、日置幸介、花田英夫
鶴田誠逸、河野裕介、河野宣之
平 勁松

宇宙開発事業団 岩田隆浩
九州大 並木則行
NASA Goddard Space Flight Center David D. ROWLANDS

13:50 ~ 13:55 休 憩

65. 重力ミッションによって検出できる Co-Seismic ジオイドと重力変化 - Alaska 地震(1964, 2002)

(12分)

東大地震研 孫文科、大久保修平

66. 海陸にまたがるヘリコプター重力測定による日本周辺重力値の再検討(12分)

東海大海洋 瀬川爾朗、K. Vijay Kumar
楠本成寿

朝日航洋(株) 中山英二
産総研 駒澤正夫

67. 筑波 - 札幌 - 那覇間における SCINTREX 重力計の繰返し検定 - SCINTREX-C G 3
M #284, #371, #212 の場合 - (12分)

防災科研 鶴川元雄、藤田英輔、上田英樹
応用地質(株) 野崎京三、岩本鋼司

68. 重力ジオイドモデル JGEOID2000 の改良 (12 分)

国土地理院 黒石裕樹

14:45 ~ 14:55 休 憩

69. 京都における5年間の絶対重力測定について

- データ補正と季節変化 - (12 分)

京大院理 小笠原志歩里、東 敏博
福田洋一、竹本修三、岩野祥子

70. 絶対重力に対する降雨の及ぼす影響

- 三宅島絶対重力連続測定 (12 分)

東大地震研 下山知徳、大久保修平
古屋正人

71. Bandung における超伝導重力計観測に及ぼす水文学的影響 (12 分)

京大院理 安部麻衣子、竹本修三
福田洋一、東 敏博

DVGHM Indonesia A. Djumarma Wiraku Sumah

DIM Indonesia Sjafra Dwipa

Dendi Surya Kusuma

72. 屋久島・種子島の重力異常 (12 分)

産総研 駒澤正夫

73. イタリア・ブルカノ島及びリパリ島の重力からみた火山構造 (12 分)

産総研 駒澤正夫、杉原光彦、大熊茂雄
中塚 正、中野 俊、古川竜太

74. 富士山における重力変化(2) (12 分)

国土地理院 檜山洋平、木村 勲、平岡喜文

75. 富士山頂における絶対重力測定(1)

- 準備段階のノウハウ (10 分)

東大地震研 松本滋夫、新谷昌人、孫 文科

大久保修平
気象研 高木朗充

76. 富士山頂における絶対重力測定(2)

- 測定結果(12分)

東大地震研 大久保修平、松本滋夫
新谷昌人、孫 文科
気象研 高木朗充、福井敬一

ポスターセッション

10月22日(水)10:10~10月24日(金)12:00

会場: 本館4階「ホワイエ」

(コアタイム: 10月23日(木)13:15~13:50)

P-1. 鹿島 - 苫小牧基線ギガビット測地 VLBI 実験

通総研 竹内 央、中島潤一、木村守孝
近藤哲朗、小山泰弘、市川隆一
関戸 衛、川合栄治、大崎裕生
久保木裕允
北海道大 徂徠和夫、住田桜子

P-2. K5 システム用 PCVLBI ボードの自動診断ツールの開発

通総研 大崎裕生、近藤哲朗、小山泰弘

P-3. 測地 VLBI 用ソフト関連器の現状

通総研 近藤哲朗、小山泰弘、大崎裕生

P-4. SST 重力ミッション衛星に対する SLR 観測の
効率化

通総研 國森裕生、吉野泰造

P-5. VLBI による飛翔体位置決定技術

- 位相遅延計測・解析の現状 -

通総研 関戸 衛、市川隆一、大崎裕生
近藤哲朗、小山泰弘

宇宙航空研究開発機構 吉川 真
「のぞみ」相対 VLBI グループ
(通総研、宇宙研、国立天文台、国土地理院
岐阜大、山口大、北海道大)

P-6. VLBI 観測による火星探査船「のぞみ」の位置決定結果と今後の宇宙飛翔体軌道決定
技術の開発計画

通総研 市川隆一、関戸 衛、大崎裕生
小山泰弘、近藤哲朗
宇宙科学研究所 吉川 真
富士通(株) 大西隆史
「のぞみ」相対 VLBI グループ
(宇宙科学研究所、国立天文台、国土地理院
北海道大、岐阜大、山口大、SGL/CRESTech)

P-7. 新 GEONET の構築(続報) - 現状と課題 -
国土地理院 山際敦史、畑中雄樹、木暮弘幸
岩田昭雄

P-8. GPS 東海地域3時間解析値の面的監視
気象研 小林昭夫

P-9. 全電子数変動の1周波 GPS 測位への影響
(2001~2003年)
海上保安大学校 山本 淳

P-10. GPS 単独測位の精度について - part2
青戸省二

P-11. 2003年7月26日宮城県北部の地震による地殻変動と断層モデル
- 測地観測データの総合解析結果 -
国土地理院 西村卓也、今給黎哲郎
矢来博司、村上 亮
海津 優
日本学術振興会・国土地理院 小澤 拓

P-12. 測地データから見る、2000年三宅島噴火の準備過程

北大院理 宮城洋介
名大院環境 木股文昭

P-13. 干渉 SAR 解析による関東平野北部地盤沈下計測について

国土地理院 加藤 敏、飛田幹男
中川弘之、松坂 茂

P-14. 1999 年の地殻変動は「定常変動」をあらわすか？

国土地理院 海津 優

P-15. 箱根火山近傍における傾斜観測

神奈川県温泉地学研究所 原田昌武、棚田俊收
代田 寧、伊東 博
丹保俊哉

P-16. 御前崎地域水準測量にみられる年周変動(続報)

国土地理院 今給黎哲郎

P-17. SELENE 衛星 VLBI 観測データの実時間転送と処理可能性について

国立天文台 平 勁松、河野宣之
日置幸介、花田英夫
劉 慶会、菊池冬彦

P-18. 重力と地形の全球譜相関と多層面質量密度層モデルを用いて地球型惑星の地殻解
析

国立天文台 平 勁松、松本晃治
日置幸介、菅野貴之

P-19. レーザ高度計(LALT)の運用とデータ処理

国立天文台 野田寛大、田澤誠一
坪川恒也、荒木博志
浅利一善、河野宣之

P-20. 月の重力ポテンシャル係数より推定するマンツルの形状(2)

三菱スペース・ソフトウェア(株) 矢田部 学

P-21 . 阿寺断層の重力異常

中部大 志知龍一

北大院理 山本明彦、池田隆司

東濃地科学センター 工藤 健

東濃地震研 田中俊行

P-22 . 2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震の震源域周辺における重力異常

北大院理 山本明彦

P-23 . 後処理仮想基準点方式による重力測定点の測位

東濃地震研 田中俊行

名城大理工 田中寅夫